

全国福祉用具専門相談員協会

理事長 岩元 文雄



選択性の導入にあたって
相談員のさらなる資質向上を

2022年2月より開催された「介護保険制度における福祉用具貸与・販売種目のあり方検討会」は9回にわたる議論を経て福祉用具の安全な利用の促進、サービスの質の向上及び給付の適正化に係る対応の方向性や一部の種目・種類を対象とする貸与と販売の選択制の導入について取りまとめられました。また、23年12月19日には、24年度介護報酬改定に関する審議報告が行われるなど次期制度改正が目前に迫っています。

福祉用具の利用安全の促進や選択制導入にあたっては、福祉用具専門相談員の更なる専門性の向上が求められるのは必定です。利用者の身体状況等に応じた選択に係る説明・提案を行うことや、モニタリングを通じた貸与継続の必要性の判断、利用安全に資する適合判定など、ケアチームにおいて存在感を発揮しなければなりません。当会は、福祉用具が利用者の自立支援を促進し、効果的・効率的に提供されるよう、福祉用具専門相談員の資質向上により一層取り組みを進めます。